

文化的景観研究集会（第12回）

ポスターセッション

	発表題目	発表者名（○：代表者）
A－学術研究部門		
A-1	根釧台地の格子状防風林と酪農景観	○植田暁（NPO 法人景観ネットワーク） 小野哲也（標津町教育委員会） 戸田博史（別海町教育委員会） 西山徳明（北海道大学観光学高等研究センター） 東田秀美（みんなの景観なかしべつプロジェクト） 坪岡始（標茶町博物館） 村田一貴（中標津町在住）
A-2	地域の伝統的なまなごしに着目した文化的景観の価値づけに関する研究 ＊	○四戸秀和（北海道大学観光学高等研究センター） 西山徳明（北海道大学観光学高等研究センター） 上田裕文（北海道大学観光学高等研究センター） 岡田真弓（北海道大学観光学高等研究センター） 八百板季穂（岡山理科大学建築学科） 麻生美希（同志社女子大学生生活科学部人間生活学科）
A-3	城崎温泉の町並みと縁側文化-都市の文化的景観におけるインテグリティの探求- ＊	○小松威徳（京都工芸繊維大学） 乾翔伍（京都工芸繊維大学） 清水重敦（京都工芸繊維大学）
A-4	暮らしを描く－和歌山県みなべ町－ 過去に想いを馳せ今を描く 地域の『懐かしい未来』を探して ＊	○柴垣志保（大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻建築・都市計画論領域） 渡辺圭一郎（大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻建築・都市計画論領域）
A-5	岡山県備前市の窯業に基づく文化的景観 ＊	○畑岡杏佳（岡山理科大学工学部建築学科） 中村実佑（岡山理科大学工学部建築学科） 黒田有花（岡山理科大学工学研究科建築学専攻） 江面嗣人（岡山理科大学建築歴史文化研究センター） 八百板季穂（岡山理科大学理工学部建築学科）
A-6	文化的景観のとらえ方 －四万十川上流域の山村集落景観を事例に－	○天満類子（NPO 法人新川田竈環境資産保全研究会） 菊地成朋（NPO 法人新川田竈環境資産保全研究会） 菊地稚奈（NPO 法人新川田竈環境資産保全研究会） 高田亜沙里（NPO 法人新川田竈環境資産保全研究会）
A-7	沖ノ島の遥拝所に関する研究 －「神宿る島」沖ノ島の海景と信仰の場－	○松本将一郎（福岡県教育庁文化財保護課）
A-8	宅地の変遷からみる景観マネジメントの課題：熊本県阿蘇地域を事例として	○麻生美希（同志社女子大学生生活科学部人間生活学科） 西山徳明（北海道大学観光学高等研究センター） 山下遥（元同志社女子大学生生活科学部人間生活学科）
A-9	ペルー北部アンデス地域におけるエコミュージアム開発を通じた文化的景観マネジメントに関する研究	○西山 徳明（北海道大学観光学高等研究センター） 上田裕文（北海道大学メディアコミュニケーション研究院） 關 雄二（国立民族学博物館） 八百板 季穂（岡山理科大学工学部建築学科） 麻生美希（同志社女子大学生生活科学部人間生活学科） Manuel Fujii Obana（ペルーカトリカ大学／リマ大学）
A-10	ペルー北部アンデス地域サンバルトロ集落の文化的景観	○八百板 季穂（岡山理科大学工学部建築学科） 西山 徳明（北海道大学観光学高等研究センター） 關 雄二（国立民族学博物館） Manuel Fujii Obana（ペルーカトリカ大学／リマ大学）

※タイトルうしろの「＊」は学術研究部門のベストポスター賞（若手研究者）選考対象

	発表題目	発表者名（○：代表者）
B－地域計画部門		
B-1	四万十川流域の文化的景観「保存活用計画」 －検討を通して「計画を使う」運用力につなぐ	○羽方優紀（公益財団法人 四万十川財団） 神田修（公益財団法人 四万十川財団） 秋月裕子（株式会社 CLAP プラス）
B-2	頭ヶ島の集落里みち －新上五島町 海のほそみち Landscape Museum－	○徳永哲（風景デザイン研究所（株）STEP） 永田真樹夫（新上五島町教育委員会 生涯学習課）
C－地域活動部門		
C-1	埼玉県小川町における風景の読み解きと表現 －東京大学 IEDP 自然環境デザインスタジオ－	○寺田徹（東京大学大学院新領域創成科学研究科）
C-2	都会の中の原風景を守り、後世に伝える －「葛飾柴又の文化的景観」ニュース－	○谷口栄（葛飾区教育委員会事務局生涯学習課） 山下書子（葛飾区教育委員会事務局生涯学習課） 藤原大志（葛飾区教育委員会事務局生涯学習課）
C-3	文化的景観をつなぐ・伝える 越前海岸の水仙畑 下岬の文化的景観における官民協働 の取り組み	○高橋要（合同会社ノカテ） 高野麻実（株式会社 RIPEN） 田中宏幸（一級建築士事務所 nuca architects） 吉鶴かのこ（Diorama.） 藤川明宏（福井市立郷土歴史博物館）
C-4	「大溝の水辺景観」エリアにおける地域活性化 10 年間の取 組み	○上田未来（大溝の水辺景観まちづくり協議会）
C-5	鉾山町・生野の文化的景観：鉾業と暮らしを支える水のし くみ	○花尾定義（口銀谷の町並みをつくる会） 宮崎隆史（口銀谷の町並みをつくる会） 藤本はな（合資会社ゼンクリエイト）
C-6	おぎの美術館	○小川千尋（奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究 科 住環境学専攻） 伊藤沙弥香（奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究 科 住環境学専攻） 小川千智（奈良女子大学生生活環境学部住環境学科） 加藤優侑（奈良女子大学生生活環境学部住環境学科）
C-7	文化的景観を活かした地域活動の取組 －奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観－	○泉知責（奥出雲町教育委員会教育魅力課）
C-8	ドローンを活用した草原維持のための収益確保の取組 －日本最大級の草原の絶景を空撮 ドローン飛ばし放題 で草原を維持する牧野組合に貢献－	○宮本利邦（阿蘇市教育委員会） 稲田悠樹（株式会社コマンドディー）
C-9	風景をつくる宿プロジェクト －主体的な景観づくりの取り組み－	○神先岳史（株式会社神山神領） 稲田玲奈（フジワラテッペイアーキテクトラボ） 井上陽人（兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研 究科） 梅田学（一般社団法人 神山つなぐ公社） 小池裕子（一般社団法人 神山つなぐ公社）

文化的景観研究集会（第12回）

ベストポスター賞

選考対象となったポスターは学術研究部門（若手研究者）4題、地域計画部門2題、地域活動部門9題であった。文化的景観研究集会（第12回）ポスターセッション選考委員会において、1）ポスター内容の充実度、2）ポスターの見やすさ・わかりやすさという観点から選考をおこない、以下の通り各賞を決定した。

A 学術研究部門（若手研究者） 2題

暮らしを描くー和歌山県みなべ町ー
過去に想いを馳せ今を描く 地域の『懐かしい未来』を探して

柴垣志保 渡辺圭一郎（大阪大学大学院）

岡山県備前市の窯業に基づく文化的景観

畑岡杏佳 中村実佑 黒田有花 江面嗣人 八百板季穂（岡山理科大学）

B 地域活動部門 3題

文化的景観をつなぐ・伝える 越前海岸の水仙畑 下岬の文化的景観における官民協働の取り組み

高橋要（合同会社ノカテ）、高野麻実（株式会社 RIPEN）、田中宏幸（一級建築士事務所 nuca architects）、吉鶴かのこ（Diorama.）、藤川明宏（福井市立郷土歴史博物館）

おぎの美術館

小川千尋 伊藤沙弥香（奈良女子大学大学院）、小川千智 加藤優侑（奈良女子大学）

風景をつくる宿プロジェクトー主体的な景観づくりの取り組みー

神先岳史（株式会社神山神領）、稲田玲奈（フジワラテッペイアーキテクツラボ）、井上陽人（兵庫県立大学大学院）、梅田学 小池裕子（一般社団法人 神山つなぐ公社）